専門教育科目 講義科目

| 授業科目名 | 国際会計基準 IFRS の知識 | 科目コード | 配当年次 | 単位 |
|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 齊藤　聡 | EJ99 | 3・4 | 2 |

**科目の概要**

IFRS（国際財務報告基準）は、経営・会計の学習をする上で、非常に重要である。グローバル展開する大企業は、既に IFRS の任意適用を始めており、中小企業を含め今後広く利用される会計基準である。
本科目では、第一章「IFRS の学び方」で学習の進め方を明示し、第二章「IFRS の基礎知識」で原則主義と概念フレームワークを説明する。そして、第三章「IFRS の概要」で個別の会計処理を、日本基準との違いを明確にしながら学習する。第四章「IFRS の将来像」では、変わりゆく IFRS を考える。

**科目の到達目標**

①国際財務報告基準（IFRS）の基礎知識を持ち、財務諸表（財政状態計算書、包括利益計算書、持分変動計算書、キャッシュフロー計算書）の要点を理解できる。また、各計算書間の関連性を見極めることができる。
②日本基準との相違点を個別の問題として捉え、説明することができる。
③簡単な計算問題を解答できる。

| テキスト | 『IFRS 会計学 基本テキスト（第７版）』橋本 尚 他,中央経済社,2022年 |
|---|---|

**テキストの読み方**

①テキストは、体系的に IFRS の概要を学べる内容である。IFRS の原則主義と概念フレームワークを理解し、全体像を把握する。
②日本基準との違いを個別問題として比較し異なる部分を理解する。基本的に、投資家等に正確な企業情報を伝える手段として、統一された基準を用いることが IFRS の目的である。
③テキストにある計算問題を解くことにより、具体的な処理を理解する。

**単位修得の方法**

リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。